

令和3年度第1回八潮市地域公共交通協議会の書面協議結果について

ご意見及び市の対応・考え方

意見番号	委員名	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方
1	今野委員		特に高齢者が車を運転しなくなった後、免許返納後の暮らしが不便にならないように、バス等の活用が出来ると良いと思います。	計画案で定めた事業を実施し、バス等の公共交通の利用促進を図ります。
1	今野委員	計画案 P20	日々の相談業務を対応する中で、八潮市民は自家用車を使用する文化が強くあり、運転が出来なくなった後に公共交通機関を使用するという事に移行しにくいと感じます。そのため、事業12、13、14は重要かと思います。	市といたしましても事業12、13、14を含む18事業全てが重要であると考えており、事業をそれぞれ計画どおり実施することで、車から公共交通利用への移行を促進してまいります。
3	高波委員		外環以北など公共交通が不便な地域への対策はスピード感を持って行っていただきたい。 また、対策はコミュニティバスのみで考えるのではなく、デマンドタクシーなどのきめ細かな足の確保を行っていただきたい。	計画案で定めた実施時期に基づき、事業を実施してまいります。 また、公共交通空白・不便地域を解消するため、計画案の実施事業5のとおり、デマンド交通を含めた新たな交通システムの導入について、今後検討してまいります。
5	高波委員		地域住民の利便性向上と町の活性化の両面から事業を検討していただきたい。	検討してまいります。
6	根岸委員	概要版 P3	事業2について、目標が現状よりも高いもの（利用者満足度）と低いもの（利用者数、収支率）の両方があるため、※印の記載方法は、検討したほうがよいと思う。	ご指摘のとおり、※印の記載方法については、修正させていただきます。